

注目

ピックアップ

「まちの誇りを、みんなで讃える日。」 Attractive City Fukuoka Awards 2025 ～福岡の魅力向上に貢献した3者を表彰～



▲(左から)金子直幹・当所魅力あるまちづくり委員会委員長、林田浩一・西日本鉄道㈱代表取締役社長、川原正孝・㈱ふくや代表取締役会長、長谷川法世氏、谷川浩道・当所会頭

当所魅力あるまちづくり委員会(委員長＝金子直幹・福岡トヨタ自動車㈱代表取締役社長)は12月9日、福岡トヨタホール スカラエスパシオにて「Attractive City Fukuoka Awards 2025(以下、ACFAs)」を開催しました。

ACFAsは、福岡の文化芸術振興や地域経済発展等のまちづくりにおいて、地道な活動で福岡の魅力向上に貢献した人や活動を讃える表彰式です。福岡の多様な魅力を内外に伝えとともに、市民がその魅力を再発見して自らのまちを“自画自賛”できる機運の醸成・高揚を図ることを目的としています。

3回目を迎える今年は、「まちの誇りを、みんなで讃える日。」という新たなブランドステートメント(理念)を掲げ、一般来場者を募集して「市民とともに創るアワード」として実施しました。当日は、経済界をはじめ、福岡をこよなく愛する市民など、75名が福岡の誇りを共に讃え合いました。

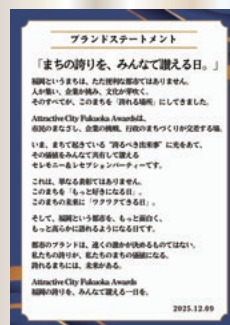
■「現在そして未来へとつながる福岡の礎」となった取組みを表彰

ACFAs2025は、当所魅力あるまちづくり委員会が中心となり、候補者募集や各種選考(ノミネート・第1次・第2次・最終選考)を行いました。

今年度は従来の選考基準に加えて、「現在そして未来へとつながる福岡の礎」という審査視点を設け、今の福岡をかたちづくってきた不断の努力や今後の福岡を担う存在を評価することが議論されました。地元メディア2社によるメディア選考委員も交えて審査を行い、約3か月にわたる選考の結果、3者の受賞者が選ばれました。

12月9日の表彰式では、受賞者による取組発表も行われ、受賞者の長きにわたる活動や今後の志に、会場から称賛の声があがりました。

ACFAs実施概要やプログラム内容、過去の受賞者等の情報はこちら



▲ブランドステートメント
(監修:カジワラブランディング㈱)



▲受賞者に贈呈された博多織タペストリー
(制作:㈱サヌイ織物、
ロゴデザイン:カジワラブランディング㈱)

グランプリ 株式会社ふくや



▲川原正孝・株式会社ふくや 代表取締役会長(右)と
金子直幹・当所魅力あるまちづくり委員会委員長(左)

<受賞理由>

- ・1948年、博多区中洲で創業し、今年77周年。
- ・戦後、創業者の川原俊夫氏が、日本で初めて明太子を製造・販売。製法特許を取得せずに公開することで全国へ広め、明太子を福岡の食文化を象徴する名産品として確立させた。地域全体の発展を願う「共存共栄」の精神は、今もなお受け継がれており、特筆すべき功績。
- ・航空便による全国配送やオンライン販売の開始など、時代に応じた革新を続け、平成25年には「博多の食と文化の博物館(ハクハク)」を開設。観光振興にも大いに寄与している。
- ・また、ISO認証取得や子育て応援企業の取組みに加え、地元企業の再建支援、地域の祭り・文化継承への貢献にも力を注いでいる同社は、福岡の誇りである。



特別賞 長谷川 法世 氏



▲長谷川法世 氏(右)と谷川浩道・当所会頭(左)

<受賞理由>

- ・福岡市博多区出身。長きにわたり福岡・博多の文化的魅力を発信し続けてきた地域文化の担い手であり、まちづくりの実践者。
- ・地域のアイデンティティを漫画という形で可視化し、地元住民の郷土愛を育むとともに、観光や地域ブランディングにも大きく貢献。
- ・今年開館30周年を迎える博多町家ふるさと館の館長として、博多の伝統文化や歴史の保存・継承に尽力。市民や観光客に向けた展示、イベントを通じて、地域文化の理解と交流を促進している。
- ・活動はまさに「文化を通じたまちづくり」そのものであり、福岡の誇りである。



委員長特別賞 ONE FUKUOKA BLDG.



▲林田浩一・西日本鉄道㈱ 代表取締役社長(右)と
金子直幹・当所魅力あるまちづくり委員会委員長(左)

<受賞理由>

- ・「天神ビッグバン」の象徴として、2025年4月に開業。
- ・人・モノ・情報・文化が交差する「創造交差点」として、都市の新しい価値を創出する拠点となっている。
- ・緑化や開放的な空間設計により、都市のオアシスとしての役割も果たし、アート活動やイベントを通じて文化発信にも積極的に取り組んでいる。
- ・今後、地域の文化や歴史を継承しながら、国内外の人々をつなぐ交流の場となり、福岡の都市ブランドを世界に発信する役割を担うとともに、持続可能なまちづくりのモデルとして、未来の福岡を形づくる先駆的な存在となることを期待する。



■一人ひとりの誇りが都市のブランドへ ～アーティストによる特別パフォーマンスで福岡の魅力を再発見～

当日は、参加者一人ひとりが主役となって福岡の魅力を再発見し、愛着や誇りを高められる契機とするため、表彰式に加えて、福岡にゆかりあるアーティストによる演出や交流パーティーを実施しました。特に、2組のアーティストによる一夜限りのパフォーマンスには、会場全体が魅了されました。



▲中洲ジャズ等で根強い人気を持つ「MIDORINOMARU」が
オープニングアクトで演奏



▲福岡を拠点に活動する「メル富田とニュー大名クォーターズ」が
特別パフォーマンス

